

# 平成29年度 自己評価書

学校名	和歌山市立東山東小学校
校長氏名	柑本 康生
作成日	平成30年2月23日

## 1 教育目標

生きる力をはぐくみ、心身ともに健やかで、明日の社会を築く豊かな創造性と実践力を持つ子どもの育成。

## 2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	○地域の方々や外部講師とのふれあいの機会を増やし、それを通して子ども達が視野を広げ、ものごとを考えたり、自分の意見を持つ素地や能力を育成する。	○道徳・総合的な学習の時間・特別活動及び全ての教科を通して自分を大切に育む心身の育成と同時に、他者を思いやる心や物事に対して感動する豊かな心を培い、健やかな日常生活を送ることができる健康な体の育成を目指す。	○学習習慣を確立し、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題解決をしていく子どもの育成と共に言語活動の充実を図る。

取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・学年だよりを通し、また、それらをHPに掲載して学校での取り組みを保護者・地域に公開した。</li> <li>・地域の方々の協力を得て、田植え・稲刈り体験や俳句教室を校内で開催し、交流を深めた。</li> <li>・校区探検・校区のゴミ拾い等を行い、地域を知り、貢献を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わうクラス」の講師及び、犬を学校に招き、動物の習性等を知り、動物愛護の精神を通して命の大切さについて学んだ。</li> <li>・保護者対象に「人権講演会」を実施して、人権意識に対する啓発を行った。</li> <li>・毎週、定期的に放課後バスケの練習を行い、子ども達にスポーツの楽しさを味あわせた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「和歌山の授業 基礎・基本3カ条」を全教員に徹底させ、授業の充実を図った。</li> <li>・本校の研究について、必ず全員が研究授業を行った。さらにそれについて協議会を行い、各人の授業力アップを図った。</li> </ul>
取組の成果と課題【C】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々との交流を深めることにより、学校と地域の風通しがさらによくなった。</li> <li>・今まで、子ども達が知りえなかった事を実体験させる事で知識に少し幅を持たせる事ができた。</li> <li>・授業時数確保のため、交流の時間の設定の調整が困難である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も「フッ化物洗口」に取り組み、「良い歯の優良校」の表彰を受けた。</li> <li>・遠足等の縦割り活動では、上級生が下級生の世話が立派にできるようになった。</li> <li>・先生の熱心な指導により、放課後バスケの参加者が増えた。また、バスケについては中央大会出場を果たし、スポーツの楽しさについてより深める事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校児童に欠けている学力が、より一層、明確になった。</li> <li>・今まで理解できていないところがあっても、質問をしない児童がいたが、質問をする児童が徐々に増えてきた。</li> <li>・毎週、「うちどく」に取り組んでいるが、その効果は今ひとつ、現れていない。</li> </ul>
次年度に向けての改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度はさらに、地域の方々や山東まちづくり会との交流を増やし、子ども達に様々な実体験をさせたい。</li> <li>・今年度から学習田を借りることができたので、田植えや稲刈り体験だけでなく、それに付随した各種体験、例えばしめ縄作りなどにも取り組みたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「縦割り活動」や「みんな遊び」を実施して、より良い学級の雰囲気作りを努める。</li> <li>・体力作りのため、体育の授業における体力作りへの、さらなる取り組みを行う。</li> <li>・「フッ化物洗口」を継続して行い、児童の歯の健康の増進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の児童に欠けている表現力を培うため、学校の教育活動全体を通して、その能力を身に付けさせる。</li> <li>・授業に児童の「学びあい」の場をより多く設け、「アクティブ・ラーニング」を取り入れる。</li> <li>・「うちどく」の取り組みを活性化する工夫を考える。</li> </ul>

## 3 その他の課題

- ・校舎や学校設備の老朽化のため、ドアの開閉、教室の照明の不具合が多発する。また、その都度、修繕しても、設備そのものが劣化しているため、根本的な解決になっていない。
- ・体育館の雨漏りが改善されない。また、体育館の外壁の劣化や汚れが目立つ。
- ・今後、入学者数が増加する可能性が高いため、教室の確保が困難である。
- ・通学路についても、狭いところや車の交通量が多い箇所もあり、民生・児童委員、育友会、学校職員等が定期的に通学路に立ち、児童の安全の確保を図っている。困難ではあると思うが、道路の拡幅や、それに伴う、歩道の設置が必要な箇所がある。